# 基本的な視点

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して住み続けるためには、以下の６つの視点が重要です。これらを踏まえて、関連計画と連携しながら本計画を推進していきます。

多様な住まいの確保

住宅の質の向上

居住の支援

医療・介護・生活支援

との連携

関連計画との連携

住環境の整備

コミュニティの充実

1. 多様な住まい（住宅・施設）の確保

　　　高齢期になると、世帯状況、身体状況や経済状況等の変化により、住まいに対するニーズは多様化します。高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画「いきいき安心プラン」と連携して、高齢期にふさわしい住まいを確保します。

1. 住宅の質の向上

　　　安全・安心な住宅は、災害時の生命の確保や、健康寿命の延伸のために必要です。船橋市住生活基本計画と連携して、住宅の耐震化、バリアフリー化、高断熱化の重要性を周知し、住宅の質の向上を促進します。

1. 居住の支援

高齢者向けの住宅や施設は多様であり、自分に合った住まいを探すのが難しい場合があります。また、連帯保証人や緊急連絡先を確保できないことなどから、住み替えが困難な人もいます。ニーズに合った住まいを探すための住宅や施設の情報提供や、入居や住み替えに対する支援を行います。

1. コミュニティの充実

　　　住み慣れた地域に住み続けるためには、コミュニティの果たす役割は重要です。地域コミュニティの充実により、高齢者が生きがいを持つとともに、共助や互助で支え合いながら生活できるように、船橋市地域福祉計画で推進を図ります。

1. 医療・介護・生活支援との連携

　　　８割以上の高齢者が、可能な限り今の住まいで生活することを望んでいます。そのためには、住宅の質を高めるだけではなく、自宅に居ながら医療・介護・生活支援のサービスを受けられることが重要です。高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画「いきいき安心プラン」の推進により、サービスの充実を図ります。

1. 住環境の整備

　船橋市都市計画マスタープランに基づき、公共公益施設の拡充に努め、バランスのとれた誰もが暮らしやすい居住環境づくりを図るほか、駅や公共施設、商業施設など、多くの人が訪れる場所や施設では段差解消や案内標識の設置など、高齢者も使いやすい整備・誘導を引き続き行います。